



第 48 回 JSiSE 全国大会のご案内

担当者： 全国大会委員会

テーマ：XR がもたらす学びの場と新しい学習・教育の可能性

<https://taikai2023.jsise.org/>

- 開催日時： 2023 年 8 月 29 日(火) ～ 8 月 31 日(木)
- 会 場： 近畿大学 東大阪キャンパス / オンライン（ハイブリッド開催）＊変更の可能性あり
- 主 催： 一般社団法人教育システム情報学会

■ お詫び

申込のページに記載の情報が誤っておりました。お詫びのページに詳細を記載しておりますので、大会 Web ページの「What's New」をご覧ください。一般セッションは、一般応募を受け付けております。

■ 全国大会の実施方法について

第 48 回全国大会は、昨年同様、対面・オンラインのハイブリッドで実施できるように調整を進めております。詳細な実施方法につきましては、決まり次第アナウンスいたします。

なお、今後のコロナウイルスの感染拡大に応じて、すべてオンラインに変更する可能性もありますのでご注意ください。

■ 大会日程（予定）

8 月 29 日（火）	
午前	プレカンファレンス
午後	オープニング（開催校挨拶），基調講演， 一般・企画セッション，インタラクティブセッション
8 月 30 日（水）	
午前	一般・企画セッション
午後	各種表彰，メインイベント， インタラクティブセッション・学生研究特別セッション（懇親会：検討中）
8 月 31 日（木）	
午前	一般・企画セッション
午後	一般・企画セッション，現地企画イベント，クロージング

(*) 大会日程は変更される可能性があります。

■大会までのスケジュール

原稿修正締切の後に、参加申込が開始されます。発表者には、参加申込の開始時にメールでご連絡いたします。本年も講演申込と投稿締切が同日となっております。また、投稿締切後、原稿修正期間が設けられています。例年と異なりますのでご注意ください。

- 2023 年 4 月 13 日(木) 講演申込・投稿開始
- 2023 年 5 月 31 日(水) 講演申込・投稿締切
- 2023 年 6 月 7 日(水) 原稿修正締切
- 2023 年 6 月 8 日(木) 参加申込開始
- 2023 年 7 月 6 日(木) [発表者] 参加申込締切
- 2023 年 8 月 1 日(火) [発表者以外] 参加申込締切(郵便振替・コンビニ決済)
- 2023 年 8 月 8 日(火) 参加費納入締切(郵便振替・コンビニ決済)
- 2023 年 8 月 31 日(木) [発表者以外] 参加申込締切(クレジットカード)

■大会参加費

事前参加申込	後期・当日参加申込
一般会員：7,500 円 学生会員：3,200 円 非会員（学生以外）：10,800 円 非会員（学生）：5,400 円 論文掲載料：1,000 円（論文一編につき）	一般会員：8,500 円 学生会員：4,000 円 非会員（学生以外）：12,000 円 非会員（学生）：6,500 円
※全国大会当日、またはそれ以前に入会手続きを行われる場合は、会員料金でお申し込みいただけます。	

ハイブリット開催に伴い、第 48 回大会の事前参加申込以降の申込は後期・当日参加申込の金額が適用されます。後期・当日参加申込はクレジットカードのみ対応しますのでご注意ください。

Web 論文集公開日との兼ね合いによりお支払い後のキャンセルは 8 月 20 日(日)までとなりますのでご了承ください。(8 月 21 日(月)以降に新規お申し込みされた場合は返金には応じられません。)

参加費等はいずれも税込みです。支払いの詳細は、大会 Web サイトをご覧ください。

プレカンファレンスの参加は自由です。これらのみに参加する場合は、大会参加登録、および参加費の支払いは不要です。

■ プログラム

プログラムは変更される可能性があります。最新の状況は大会 Web サイトに掲載いたします。

○ プレカンファレンス

1. ノーコードで開発するスマホ用デジタル教科書アプリのハンズオン
2. 学生期から学び続ける楽しさを覚えよう
3. Moodle の機能拡張と活用実践
4. 学習支援研究における生成系 AI の位置づけを探る
 - ー まずは学習課題を解かせるための前処理の観点から ー
5. 我々の教育システム情報学マップ：問いの体系化の共有に向けて

6. 反転が生み出す論文執筆のブレークスルー
ー ディスカッションベースの論文投稿ファシリテーション ー
7. エージェンシー育成のための社会情動的スキルワークショップ
8. 高大接続におけるメタバースの可能性

(*) 詳細については Web サイトで随時更新いたします。

○ 企画セッション

1. エージェンシー育成のための社会情動的スキルに関する研究
2. 教育 DX を支える LA (Learning Analytics) の多面的検討
3. 学習体験における先進的学習メディアと IA (Intelligence Amplification)
4. 近未来の医療者教育
5. エビデンスに基づいた学習者中心の教育・学習支援
6. 教育 DX と実世界指向学習環境

■ 講演論文集について

第 45 回大会より CD-ROM での配布を廃止し、Web による配布のみとしております。Web 版の講演論文集は、2023 年 8 月 21 日(月)に大会参加者のみに公開され、2024 年 3 月 1 日(金)に一般公開されます。

■ 企業展示・広告の募集

Web バナー広告、展示ブース、企業紹介ランチミーティング（学生リクルーティング）、各種セッション間での動画広告の上映、など多種用意しております。詳細は大会 Web サイトの「スポンサー」の記事をご覧ください。

■ 協賛金のお願い

大会運営のための諸費用として使用させていただく協賛金を募集しております。ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。詳細は大会 Web サイトの「スポンサー」の記事をご覧ください。

■ 大会事務局

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

一般社団法人 教育システム情報学会 全国大会委員会

E-mail : jsise-desk@conf.bunken.co.jp (@を半角に変更してください)



2023 年度研究会開催スケジュール

担当者： 研究会委員会

2023 年度の年間スケジュールは下記の通りです。

詳細は、学会ウェブページ (https://www.jsise.org/society_research/) をご覧ください。

回	テーマ	開催日	会場	申込締切	原稿締切
第 1 回	DX 時代に向けた学習環境 の変革・リスキリング／ ヘルスケア分野の DX 人材 育成／一般	終了	早稲田大学 早稲 田キャンパス（現 地、またはハイブ リッド）	終了	終了
第 2 回	ICT を活用した学習支援 と教育の質保証／一般	2023 年 7 月 15 日（土）	北星学園大学	終了	2023 年 6 月 15 日（木）
第 3 回	先進的演習・実習支援環 境／一般	9 月 30 日（土）【変更の 可能性あり】	静岡大学浜松キャン パス【オンライン に変更の可能性 あり】	2023 年 8 月 10 日（木）	2023 年 8 月 31 日（木）
第 4 回	多様なスキルの開発を支 える学習デザインとその 支援技術／一般	11 月 11 日（土）【変更 の可能性あり】	関西大学	2023 年 9 月 21 日（木）	2023 年 10 月 11 日（木）
第 5 回	教育 DX と実世界指向学習 環境／一般	2024 年 1 月中を予定	拓殖大学（文京キ ャンパス）	未定	未定
第 6 回	実社会や他校種との接続 を意識したデータサイエ ンス教育／一般	2024 年 3 月中を予定	山口大学（ハイブ リッド）【オンラ インに変更の可能 性あり】	未定	未定
特集	未定	2024 年 3 月中を予定	山口大学（ハイブ リッド）【オンラ インに変更の可能 性あり】	未定	未定

研究会全般に関するお問い合わせは、学会事務局までお願いいたします。



2023 年度 第 2 回研究会 開催案内

担当者：不破泰、小松川浩、布施泉、野崎浩成、金子大輔（研究会委員会）

■ テーマ：ICT を活用した学習支援と教育の質保証／一般

■ 開催日時：2023 年 7 月 15 日（土）

■ 開催場所：

北星学園大学（札幌市厚別区大谷地西 2 丁目 3 番 1 号）※本研究会は対面のみの実施です。

札幌市営地下鉄 東西線 大谷地駅下車徒歩 5 分 <https://www.hokusei.ac.jp/access/>

■ 原稿提出締切：

2023 年 6 月 15 日（木）【延長いたしません】（発表申込期間は終了しました）

■ 趣旨：

現在、教育現場においては、ICT を活用した多様な学習支援が行われています。GIGA スクール構想によって教育用コンピュータ 1 台あたりの児童生徒数は令和 4 年 3 月時点で 0.9 人となり、1 人 1 台端末の利活用はもはや当然のこととなりました。教職課程のコアカリキュラムでは「情報通信技術を活用した教育に関する理論及び方法」が新設されました。今後は環境整備ではなく、どのような学習場面でどのように効果的に ICT を活用するかなどのソフト面に焦点を当てていく必要があります。また、高大連携改革などの流れの中で、各教育課程における質保証に関する議論も行われていますが、それらの前提には ICT の効果的な活用があります。

上述の背景から、本研究会のテーマを「ICT を活用した学習支援と教育の質保証／一般」としました。ICT を活用した学習支援、教材システム、学習支援の環境や技術、学習コンテンツの開発・評価など、e-Learning や学習支援に関する研究だけではなく、そのようなシステムやコンテンツの活用事例を通じた教育的な効果や有効性に関する研究を広く募集します。これらの研究を通じて、学習支援のあり方や教育の質保証について検討し、現在のさまざまな教育の課題に切り込み、解決の糸口を探ることを目指します。また、システム開発やコンテンツ作成をはじめ、教育実践や教材評価、カリキュラム設計、学習科学、言語教育など、教育やシステムに関連した幅広い分野からの発表も歓迎いたします。職場の同僚や共同研究をしているグループなど、お誘い合わせの上奮ってご参加下さい。

■ 発表時間等：

発表時間は 25 分（発表 17 分、質疑 7 分、入れ替え 1 分）です。

■ 発表申込および研究会への参加方法：

研究発表および研究会参加には、研究報告の年間購読（4,000 円／年）または各回の研究報告の購入（1,000 円／回）が必要となります。ただし、聴講のみを希望する学生会員は研究報告を購入する必要はありません。本研究会は対面のみの実施です。

○ 発表者

発表申込および原稿提出は、Web サイトの「申込者ログイン」よりお願いします。また、事前参加申込（研究報告の購入）は 2023 年 6 月 16 日 9 時に開始します。開始時刻以降に「申込者ログイン」から手続きしてください。

○ 聴講のみを希望する学生会員

聴講のみを希望する学生会員は、「申込者ログイン」での手続きは行わず、下記の問い合わせ先まで直接メールでご連絡ください。

○ 上記以外の参加者

事前参加申込（研究報告の購入）は 2023 年 6 月 16 日 9 時に開始します。開始時刻以降に「申込者ログイン」から手続きしてください。クレジットカード払いであれば当日まで事前参加申込が可能です。それ以外の支払い方法は 7 月 8 日まで選ぶことができますが、支払期間内に入金しないと参加申込が確定となりません。支払期間は完了通知メールに記載されますので、必ずご確認をお願いいたします。

○ 現地での参加申込

当日の受付での参加申込は行いません。参加を予定している方は必ず事前参加申込を行ってください。クレジットカード払いの場合は、当日の事前参加申込も可能です。

○ 懇親会について

研究会終了後に懇親会を開催する予定です。会費は 5000 円程度の予定です。後日、第 2 回研究会 Web サイトなどで申し込み方法を掲示します。

■ 研究報告執筆フォーマット：

原稿の執筆・投稿にあたっては、以下のページをご確認ください。

- ・ 研究報告執筆要領：<https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2022/07/format.pdf>
- ・ 研究報告見本：<https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2022/07/sample.pdf>
- ・ 研究報告ひな形：<https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2022/07/sample.docx>
- ・ 講演申込・原稿投稿方法：<https://www.jsise.org/society/committee/pdf/manual.pdf>

■ お問い合わせ先：

金子大輔（北星学園大学）

E-mail：kenkyuu-2nd-ml [at] jsise.org（[at]の部分の半角の「@」に変えて下さい。）



2024 年度発刊 特集号論文募集

担当者： 学会誌編集委員会委員長 瀬田 和久（大阪公立大学）

「答えのない課題の解決に挑む学び」を支える教育システム・デザイン

論文投稿締切：2023 年 6 月 4 日（木）【16 日（金）まで延長します／下記注意事項あり】

2024 年 4 月 1 日 発行（予定）

これからの社会に求められる「新たな価値の創造」に対応できる人材の育成を支える教育システム・デザインの提案・実践、また、それらの取り組みを加速する先駆的な教育 DX の取り組みに関する論文を募集します。

現代は、「先行きが見通せない予測困難な時代」「持続可能な未来のために劇的な社会変革が求められる時代」であるといわれています。価値観が多様化し、複雑さを増す社会における喫緊の課題として、新たな課題の発見・解決を通じた価値創造に対応できる人材の育成が挙げられています。従来からの価値のみに縛られず、「答えのない課題」に挑戦し、解決していく人々を支えるための教育システム情報学領域からのアプローチを、本特集を通じ、広く社会に発信していきます。

1. 対象分野

「課題解決プロセス（課題の定義や解決、評価）」「創造性・創造的問題解決」「研究開発（R&D）」「PBL」などに関連した取り組みの他、価値創造ができる人材育成のカギと考えられる「主体的な学び」「協働的な学び」「個別最適な学び」の実現に向けた取り組みなどを広く募集します。またこれらを支える技術の在り方として ICT 活用・先進的学習支援技術・教育 DX の観点からの研究論文も歓迎いたします。

2. 論文種別

すべての種別（一般論文、実践論文、ショートノート、実践速報）の論文を募集いたします。なお、査読を通して、異なる種別での採録となる場合があります。また、内容により一般号掲載論文へ変更する場合があります。

3. 投稿要領

教育システム情報学会学会誌原稿執筆要領に準じます。詳細は教育システム情報学会の Web ページで確認してください。Web 投稿の際には、以下の点にご注意ください。

Web 投稿の際には「投稿種別」で「特集号」を必ず選択してください。また、特集論文研究会（2023 年 3 月 18 日開催）で発表を行った方は、投稿情報入力に際して、特集論文研究会での発表題目と発表番号を記載してください。特集論文研究会での発表がないご研究でも、特集号論文へのご投稿は可能です。多くのみなさまからの積極的なご投稿をお待ちしております。

4. スケジュール

論文投稿締切： 2023年6月1日(木) 【2023年6月16日（金）まで締切延長しました※注意】
採録通知予定： 2023年12月初旬まで 【予定】
学会誌 掲載： 学会誌Vol. 41, No. 2, 2024年4月1日発行 【予定】

※注意： 6月2日(金)以降に原稿提出いただく場合，原稿の投稿に先立ち，6月8日（木）正午までに「事前投稿エントリーフォーム」へのご入力をお願いいたします。査読を円滑に進めさせていただくために，必ずエントリー（著者／論文情報の事前登録）をお願いいたします。

なお，6月2日（金）以降に提出された論文で，事前の投稿エントリーがない場合は，一般号への投稿として受理することがあります。

2023年度論文特集号 事前エントリーフォーム：※ 6月8日（木）正午まで

<https://forms.gle/4656vMG6sf3EcZsk9>

5. 特集号編集委員会

委員長： 瀬田 和久(大阪公立大学)
副委員長： 村上 正行(大阪大学)
筆頭幹事： 後藤田 中(香川大学)
幹事： 高木正則（電気通信大学），田中孝治（金沢工業大学），
山崎 治（千葉工業大学）
幹事補佐： 近藤 伸彦（東京都立大学），津森伸一（聖隷クリストファー大学），
山元 翔（近畿大学）
委員： 学会誌編集委員

6. 問い合わせ

全般： 山崎 治（千葉工業大学）
E-mail: yamazaki@net.it-chiba.ac.jp



Information and Technology in Education and Learning (ITEL) 論文募集 [<https://www.j-itel.org>]

日本教育工学会 (JSET) との合同英文誌 ITEL (Information and Technology in Education and Learning, <https://www.j-itel.org>) への掲載原稿を募集しています。この ITEL では、我が国における教育工学・教育システム情報学の国際的な発信力を強化するとともに、国際的な共同研究・研究交流のプラットフォームになることを目指しています。研究対象は、教育システム情報に関連した領域全般はもちろん、様々な教授学習場面のための方法・技術に関する基礎研究・開発研究・実践研究等も含まれます。ITEL は、J-STAGE をプラットフォームとしたオープンアクセスジャーナルです (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/itel/list/-char/ja>)。先日、Vol.2 が公開されました。投稿後、原則、7 か月以内に 2 回の査読が終了するように配慮しています。短期間で、革新的な研究成果、ユニークな実践等を世界に向けて発信するために活用していただければ幸いです。学位取得を目指されている方や留学生のみなさんからのご投稿もお待ちしております。

○論文種別：一般論文 (Regular Paper, 基本 8 ページ) ,

実践論文 (Practice Paper, 基本 8 ページ) ,

システム開発論文 (Development Paper, 基本 8 ページ) ,

ショート論文 (Short Paper, 基本 4 ページで最長 6 ページまで)

<これまでのショートノート (Short Note) と実践速報 (Report on Practice) を含みます>

○投稿締切：1 年中投稿を受け付けています。

○投稿要件：

- ・論文は他学会において査読中でないこと、そして、その主要部分が未発表であること。ただし、国際会議、学会の大会、研究会等で口頭発表した内容をまとめたものは投稿することができます。
- ・投稿者は本会会員である必要はありませんが、本会会員あるいは JSET 会員である場合には掲載料に会員の価格が適用されます。投稿者が 2 名以上の連名の場合は、そのうち少なくとも 1 名が会員であれば、掲載料に会員価格が適用されます。

○原稿執筆要領：ITEL Web サイトに、執筆要領 (Author Guidelines) 等がアップされています。

○投稿方法：< [ITEL 電子投稿システム] https://iap-jp.org/j-itel/journal_e/ >

- ・ITEL Web サイト上から、電子投稿システムにログインして投稿を行って下さい。
- ・初めて電子投稿システムを利用する場合は、まず利用者用 ID の発行手続きを行って下さい。
- ・投稿論文は、論文執筆用テンプレートファイルを用いて PDF ファイルに出力して提出して下さい。
- ・投稿論文は、投稿前にできるだけ英文校正 (Proofreading) を受け、証明書提出を推奨しています。

○査読方法：

- ・投稿論文の査読は、JSiSE 英文誌と同様に、シングルブラインド制で行われます。
- ・査読者は 2 名で、査読回数は 2 回となります (著者照会は 1 回のみ)。
- ・評価項目は、Originality (新規性)、Usefulness (有用性)、Reliability (信頼性)、Presentation (明瞭性) の 4 項目となり、JSiSE 英文誌と異なり、査読中に投稿論文の種別変更はありません。
- ・投稿者の希望に基づき、JSiSE 英文誌と同様、日本語で査読コメントを受けることもできます。



科研費申請支援制度（2023 年度春期）のご案内

担当： JSiSE 人材育成委員会

教育システム情報学会では、次代を担う若手研究者の自立、研究活動の活性化を積極的に支援することを主旨として、科研費申請支援制度を試行します。本学会の理事等を中心に、当該分野の科研費審査や獲得経験を有する複数のシニア研究者（匿名）が、提出された申請書に対して、主張点や論旨の明確化、焦点化など、審査員に上手に伝えアピールする視点から、採択に向けたコメントを書面で提供するものです。申請書評価の多様な見方に触れて頂くためにも、学会としてまとめることはせずコメンテーターからのコメントをそのまま提供します。これらを参考材料として申請者ご自身の判断の下で取捨選択しての申請書のブラッシュアップに役立てて頂く主旨のものです。学会およびコメント提供者は申請内容について守秘義務を負うものとします。なお学会およびコメント提供者は採択に関する責任を負うことはできませんので、予めご承知おきください。

本制度は研究活動スタート支援（春季募集）および若手研究・基盤研究（C）（夏季募集）を支援対象とします。主として以下の分野を対象にしますが、JSiSE が学際的な領域を対象にしていることから、他の分野でもできるだけ柔軟にお受けしたいと考えていますので、下記問い合わせ先までご相談ください。

- 支援種目：
 - 研究活動スタート支援（春期募集）
 - 若手研究（夏季募集）
 - 基盤研究（C）（夏季募集）（※ただし、若手研究の応募資格を有する方に限る）
- 分野：
 - 「大区分 A」「中区分 9：教育学およびその関連分野」
 - ◇ 09070 教育工学関連
 - ◇ 09080 科学教育関連
 - 「大区分 J」「中区分 62：応用情報学およびその関連分野」
 - ◇ 62030 学習支援システム関連
- 申請者は学会員であることが必要です。

スケジュールは以下の通りです。ご所属機関により提出時期が異なることを踏まえ、提出期間に幅を持たせています。

【春期募集スケジュール】

○エントリー

研究活動スタート支援：受付中

下記提出先まで電子メールにて、 代表者氏名(所属)・タイトル・応募種目・分野(大区分、小区分)をお知らせください。

サブジェクトは「JSiSE 科研費申請支援」を含む文字列でお願いします。

※エントリーがなくても申請は随時受付いたしますが、事前にエントリー頂ければメンターに書類を迅速にお送りできますので、結果の返送も早くなります。

※若手研究、基盤研究 (C) は夏季募集を予定しています。

○申請書提出

研究活動スタート支援：申請者所属機関の申請書類締め切りの約2週間前まで

申請書のファイル (MS-Word または PDF 形式) を下記提出先までお送りください (予算明細などの詳細まで埋めていただく必要はありませんが、よりよいコメントを提供するために、ある程度内容が固まってからご提出いただくのが望ましいと思われます)。提出いただき次第、メンターに申請書を送付します。

○コメントのお返し

【各メンターから提出があり次第、随時コメントをお返します。】

事前エントリーがあった場合申請書提出から1週間前後、ない場合10日前後の返信を予定しておりますが、事情により遅れる可能性もございますので余裕をもってお申込みください。

エントリー、申請書提出およびお問い合わせ先

JSiSE 人材育成委員会 (jsise-y-support@googlegroups.com)



第 1 回研究会開催報告

担当者： 加藤泰久，仲林清，真嶋由貴恵，松居辰則，森本容介（研究会委員会）

テーマ： DX 時代に向けた学習環境の変革・リスクリング／ヘルスケア分野の DX 人材育成／一般
※学習分析学会と合同開催

開催日時： 2023 年 5 月 20 日（土）10:15～16:45

開催場所： 早稲田大学早稲田キャンパス（発表は現地、聴講はハイブリッド）

発表件数： 12 件

今年度の第 1 回研究会は、「DX 時代に向けた学習環境の変革・リスクリング／ヘルスケア分野の DX 人材育成／一般」をテーマに開催いたしました。発表は現地（早稲田大学早稲田キャンパス）、聴講はハイブリッド形式で開催いたしました。

各種研修や授業の実践、ロボットとのコミュニケーション、学習者の状態推定、システム開発、教材の評価など、多様なテーマで 12 件の研究発表が行われました。昼食の時間帯には、教育システム情報学会・学習分析学会合同研究会ラウンドテーブル『生成 AI による学習・評価の変容と教育工学研究への期待』を開催いたしました。4 名の登壇者がそれぞれの立場からの話題提供を行い、生成 AI がもたらす変化と対応に関して議論を行いました。生成 AI に関しては、教育現場への適用に対する考察や、生成 AI を用いた授業実践、システム開発などの研究発表も行われ、関心の高さが伺えました。

第 1 回研究会は、4 年ぶりに対面参加を受け入れての開催となりました。参加登録された方は 76 名で、対面参加とオンライン参加の人数は半々程度でした。

研究発表のタイトルは、以下の通りです。

- ・プロジェクト型作業支援エデュテインメント教材を用いた IT エンジニアのリスクリング研修の試み
- ・ショート動画活用による企業連携 PBL 型授業の実践と課題
- ・理系大学における FD セミナー改善に向けた異分野教員チームの構築
- ・大学生のセルフメディケーション実践支援に向けた LINE 版おくすり手帳の開発
- ・学習コンパニオンロボットによる「Peer さ」形成に関する実験的検証
～長期的非言語インタラクションによる競争感誘発の可能性～
- ・弱さをもつコミュニケーションロボットによる学習援助の誘因のための要因分析
- ・生体情報を用いた学習中における学習者の感情隠蔽状態の推定及びフィードバック生成
- ・要約フィードバックによるバッティングスキルの熟達化に関する研究
- ・テキスト生成システムを用いたプログラミング学習法の検討
- ・生成系 AI の教育および教育研究へのインパクトについて
- ・データサイエンティストのための情報倫理教育プログラムの提案
- ・高等学校情報科「情報 I」教員研修用教材学習環境としての EduBlocks の評価



「ラーニングイノベーショングランプリ 2023」 一次審査応募結果

教育システム情報学会 産学連携委員会 委員長 松浦 健二

教育システム情報学会が共催している産学連携イベントであるラーニングイノベーショングランプリの一次審査応募受付が、5月22日（月）午前11:59に締め切られました。日本全国の高等教育機関の研究室から27件の応募がございました。

一次審査の結果は、6月1日（木）に公式サイトにて発表される予定です。最終審査および表彰式の予定はスケジュールをご確認ください。2023年度はグランプリの受賞者プレゼンテーション・表彰式が、2023年7月19日（水）に東京国際フォーラムでおこなわれます。

【一次審査応募一覧】

<https://ligp.gingerapp.co.jp/category/first-works-2023/>

【スケジュール】

- 5月22日（月）：応募受付締め切り（午前11:59 締切り）
- 6月1日（木）：公式サイトで一次審査結果発表
- 6月1日（木）～6月20日（火）：一次通過者動画制作期間
- 7月10日（月）：公式サイトで審査結果発表
- 7月19日：受賞者プレゼンテーション・表彰式（会場：東京国際フォーラム）

【運営体制】

- 主催：ラーニングイノベーションコンソシアム（LIC）
- 共催：教育システム情報学会（JSiSE）、デジタルラーニング・コンソーシアム（DLC）
- 協賛：日本情報科教育学会、人工知能学会、電子情報通信学会教育工学研究会、学習分析学会、情報処理学会 CLE 研究会、日本教育工学会
- 運営：ラーニングイノベーショングランプリ実行委員会
- プラチナスポンサー：ジンジャーアップ
- ネーミングライツスポンサー：Moodle Pty Ltd/イーラーニング、サイコム・ブレインズ、ユームテクノロジージャパン



「2023 年度教育システム情報学会産学連携奨励賞」受賞研究

教育システム情報学会 産学連携委員会 委員長 松浦 健二

教育システム情報学会産学連携委員会は、本学会の学生研究発表会における発表の中で、学術的な観点のみならず、産業的な観点からも、その研究開発および実践内容の、社会発展への寄与や産学連携への潜在性を含む将来への期待を改めて評価し、奨励することを目的とした「産学連携奨励賞」の表彰をおこなっています。今年度は、2022 年度学生研究発表会受賞者リスト (https://www.jsise.org/society_research/presentation/) に掲載されている 30 件が選考対象になり、以下の 5 件が受賞となりました。

■電気通信大学 宇都研究室【関東地区】

読解対象文の難易度を考慮した読解問題自動生成手法

https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2023/01/2022_kantou_a05.pdf

■早稲田大学人間科学学術院 松居辰則研究室【関東地区】

生体情報を用いた学習中における学習者の感情隠蔽状態の推定及びフィードバック生成

https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2023/01/2022_kantou_a11.pdf

■和歌山大学 システム工学部 曾我研究室【関西地区】

MR 環境における文字入力手法の創出

https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2023/01/2022_kansai_b05.pdf

■高知大学 理工学部 情報科学科 岡本研究室【四国地区】

研究授業レビュー支援システムのための電子化指導案の提示手法

https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2023/01/2022_shikoku_a01_p01.pdf

■徳島大学松浦研究室・電気通信大学柏原研究室 DS 高度化共同研究チーム【四国地区】

鉄道車両運転における視線の振る舞い学習支援に関する一考察

https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2023/01/2022_shikoku_a05_p05.pdf

選考の対象単位は、選考された発表を行った著者の所属する高等教育機関の研究室単位（もしくは複数研究室にまたがる場合にはプロジェクト／チーム単位）です。上記の受賞研究には、ラーニングイノベーションングランプリ 2023（LIGP2023）の二次選考シード権が副賞として与えられます。

「ラーニングイノベーションングランプリ 2023」

公式ウェブサイト：<http://ligp.gingerapp.co.jp/>



研究会報告年間購読の申し込みについて

研究会報告は、2016年度からは印刷媒体での研究会報告は廃止し、オンライン上でタイムリーかつオンデマンドな閲覧が可能となるように、研究会報告を電子化しています。保管などの手間もなく、大変便利に活用できるようになっております。

是非、研究会報告の「年間購読」のお申し込みをご検討いただければ幸いです。研究会当日も電子媒体として販売する予定ですが、年間購読がお得になっております。

- ・年間購読:4,000 円（定例研究会年 6 回，特集研究会 1 回，計 7 回分を含む）
- ・当日販売:1 冊 1,000 円

新規での「年間購読」申込みにつきましては、年会費をお支払いいただく前に会員種別変更申込をお願いします。以下の手順でお申し込みください。すでに年間購読をしていた方は手続き不要です。

- 1) 年会費納入手続きの前に、下記フォームにて事務局（secretariat@jsise.org）まで年間購読申込をしてください。

=====

※研究会報告年間購読希望
会員番号（お分かりであれば）：
お名前：
所属：
連絡先 e メールアドレス：
=====

- 2) 手続き終了後、事務局より会員種別変更完了のご連絡を差し上げます。
- 3) マイページから年会費と合わせて年間購読費をお支払いください。

※年会費納入後に「年間購読」を申込みご希望の場合は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。年間購読の請求書をお送りし、会員種別変更の手続きを進めさせていただきます。

関東支部より活動報告



関東支部 2023 年度支部総会 開催報告

担当者： 関東支部 支部長 山本 樹（明海大学）

教育システム情報学会関東支部の 2023 年度支部総会を、2023 年 5 月 20 日（土）にオンラインで開催いたしました。支部総会の出席者 11 名と委任状 62 名、計 73 名により総会が成立致しましたことをご報告いたします。議事として以下の事項について提案し、ご承認いただきました。

1. 支部役員の構成

本年度の支部役員および運営委員の構成は、以下の通りです。支部長・副支部長については、昨年度の支部会則改正により、支部役員会の推薦による候補者以外に立候補がなく、無投票により選出されています。なお、支部長・副支部長は、6 月末に開催される社員総会での承認をもって交代となります。

支部長：山本 樹（明海大学）
副支部長：大河 雄一（東北大学）
辻 靖彦（放送大学）【新任】
幹事：小島 一晃（帝京大学）
東本 崇仁（千葉工業大学）【新任】

運営委員：

総務担当：佐々木 整（拓殖大学）
財務担当：山崎 治（千葉工業大学）
企画担当：小島 一晃（帝京大学）※兼務
広報担当：東本 崇仁（千葉工業大学）※兼務 【新任】

植野 真臣（電気通信大学）	田和辻可昌（早稲田大学）
宇都 雅輝（電気通信大学）	中嶋 竜一（株式会社デジタル・ナレッジ）
柏原 昭博（電気通信大学）	根本 淳子（明治学院大学）
加藤 泰久（東京通信大学）	長谷川 理（武蔵野大学）
國宗 永佳（千葉工業大学）【新任】	松居 辰則（早稲田大学）
近藤 伸彦（東京都立大学）【新任】	松下孝太郎（東京情報大学）
高木 正則（電気通信大学）	三石 大（東北大学）
高橋 暁子（千葉工業大学）	渡辺 博芳（電気通信大学）

顧問：仲林 清（熊本大学）【新任】

2. 2022 年度の活動報告・2023 年度の活動予定
3. 2022 年度の決算報告・2023 年度の予算計画

本年度も、2023 年 11 月頃に産業・学術・教育実践の 3 分野連携による新たな学びの共創を目指したイベント「リサーチ・コ・コ・コモンズ」を東京近郊で開催する予定です。また、2024 年 3 月上旬に学生研究発表会の開催も予定されています（運営協力）。なお、学生研究発表会は、関東近郊にて合宿形式での開催を予定しております。開催の際には、支部会員の皆さまのご協力、および、ご参加いただけましたら幸いです。

4. その他

今後は支部活性化のための人的基盤の構築と広報を行うことをより一層重点化したいと考えております。今後も支部会員ならびに学会員の皆さまより、本支部の活動へのお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

関西支部より活動報告

担当者： 尾崎拓郎（大阪教育大学，関西支部副支部長，支部研究会担当）

1. 関西支部産学連携研究会を開催

関西支部では、産業界と学術界が交わることで新たな技術や知見を生み出すことを目的とした産学連携研究会を毎年開催しています。今年は「ポストコロナ時代のオンライン学習について考える」をテーマに、学術からの話題提供として、「倍速視聴」で各メディアでも話題になった「近畿大学での講義動画視聴分析」についての話題と、産業界からは株式会社 Schoo 様をお招きし、「社会人向けオンライン学習と大学等でのオンライン学習の動向」について、それぞれお話をいただきました。当日は 33 名の参加がありました。

【開催概要】

日時：2023 年 3 月 27 日（月）15:00～

場所：オンライン開催（Zoom）

後援：近畿大学情報学研究所 ICT 教育部門

15:00～15:30 話題提供 1：越智洋司先生（近畿大学情報学部准教授）

「視聴ログからみたオンデマンド授業のあり方」

15:30～16:00 話題提供 2 野島亮太様（(株) Schoo 執行役員 高等教育機関 DX 事業本部 本部長

「社会人向けオンライン学習と大学等でのオンライン学習の動向」

16:00～16:30 質疑、フリーディスカッション

2. 関西支部第1回研究会を開催

関西支部の総会に合わせて、2023年度第1回研究会をオンライン（Zoom ミーティング）にて開催しました。招待講演として、香川大学／株式会社リコーの山田哲先生をお迎えし「香川大学のDX化の取り組み」についてご講演いただきました。当日は、関西支部の会員16名が参加しました。

山田先生自身、株式会社リコーに籍を置きながら、香川大学にもクロスアポイントメント教員として産学連携の架け橋として重要な役割を担っておられます。香川大学DX推進研究センターと株式会社リコーの立ち位置についてのお話から始まり、教育DXを推進する上での業務UX調査、業務改善アイデアソン、業務システム内製開発、業務システム開発ハンズオン等、香川大学の中で業務改善を大学として取り組んでいくための業務の向き合い方や組織内での人同士の関わり方について、示唆に富むお話をいただきました。ご講演後のディスカッションにおいても、「香川大学の取り組みが非常に参考になった」といった意見が寄せられました。

【開催概要】

日時：2023年5月21日（日）14：00～

場所：オンライン開催（Zoom）

演題：「香川大学のDX化の取り組み」

登壇：山田 哲 先生

（香川大学 情報化推進統合拠点 DX推進研究センター 特命教授／

株式会社リコー RDS デジタルサービス開発本部 IoTソリューション開発センター 所長）

広報からのお知らせ



Web サイトがリニューアルされました

2023 年 1 月 23 日に、JSiSE の Web サイトがリニューアルされました。従来よりも見やすく、操作も分かりやすくなっています。新しくなった Web サイトをぜひご覧ください。

また、何かお気づきの点があれば、遠慮なく学会事務局までお問い合わせください。



Twitter アカウントの紹介

2016 年 8 月下旬より、全国大会開催に合わせて学会の公式 Twitter アカウントを開設しました。本アカウントは原則として当学会の広報を目的とした配信専用としております。本学会へのご質問・お問い合わせは、学会事務局（secretariat@jsise.org）へお願いします。

<https://twitter.com/JsisePr>

◇ 2023 年 5 月 26 日現在、フォロワー数 259 アカウント



Facebook ページもご覧ください

教育システム情報学会の公式 Facebook ページを運用しています。本ページでは、論文・発表募集や本学会に関連するイベントの情報などをお届けしています。ぜひ、ご覧下さい。

Facebook ユーザの方は、ぜひ、「いいね」をお願いいたします。

<https://www.facebook.com/jsise.org/>

◇ 2023 年 5 月 26 日現在、いいね 533 件、582 人フォロー

Twitter, Facebook への情報掲載の依頼などは学会事務局（secretariat@jsise.org）までお問い合わせください。



他団体 協賛・後援イベントのお知らせ

後援「国際会議 ICCE2023」

日時：2023 年 12 月 4 日（月）～8 日（金）

会場：くにびきメッセ国際会議場（島根県松江市）

後援「24th International Conference on Artificial Intelligence in Education（略称：AIED2023）」

日時：2023 年 7 月 3 日～7 月 7 日

会場：一橋講堂（東京都千代田区一ツ橋）

後援名義使用「日本情報オリンピック」

日時：2023 年 5 月 16 日～2024 年 3 月 25 日

会場：オンライン開催

後援名義使用「オンラインラーニングフォーラム 2023」

日時：2023 年 11 月 1 日（水）～2 日（木）および 7 日（火）～10 日（金）

会場：オンライン開催

後援名義使用「TIES シンポジウム 2023」

日時：2023 年 6 月 10 日（土）13:30～18:00

会場：帝塚山大学東生駒キャンパス 1 号館 2F 1201 および ZOOM

協賛名義使用「日本情報科教育学会第 16 回全国大会」

日時：2023 年 7 月 1 日（土）13:00～18:30

2023 年 7 月 2 日（日）9:30～17:20

会場：東海大学 東京キャンパス高輪校舎

協賛「ヒューマンインタフェースシンポジウム 2023」

日時：2023 年 9 月 6 日（水）から 8 日（金）

会場：青山学院大学 相模原キャンパス

連携依頼「日本心理学会第 87 回大会における公募シンポジウム」

日時：2023 年 9 月 15 日～17 日

会場：神戸国際会議場（一部ハイブリッド）



国際会議のご案内

- 2023 年 6 月開催

WCE 2023: The 10th World Congress on Education

開催期間 : June 26-28, 2023

開催地 : Toronto, Canada

URL: <https://worldconedu.org>

- 2023 年 7 月開催

The 24th International Conference on Artificial Intelligence in Education

開催期間 : July 3-7, 2023

開催地 : Tokyo, Japan and virtually (synchronous hybrid)

URL: <https://www.aied2023.org/>

- 2023 年 7 月開催

EdMedia + Innovate Learning Summit

開催期間 : July 10-14, 2023

開催地 : Vienna, Austria

URL: <https://www.aace.org/conf/edmedia/>

- 2023 年 7 月開催

17th International Conference on e-Learning and Digital Learning 2023

開催期間 : July 15-17, 2023

開催地 : Porto, Portugal

URL: <http://www.elearning-conf.org/>

- 2023 年 10 月開催

EDUCAUSE 2023

開催期間 : October 9-12, 2023

開催地 : Chicago, Illinois

開催期間 : October 18-19, 2023

開催地 : Online

URL: <https://events.educause.edu/annual-conference>

投稿締切 : April 17, 2023

- 2023 年 11 月開催

2023 Open Education Conference

開催期間 : November 7-9, 2023

開催地 : Online

URL: <https://openeducationconference.org/2023/>

投稿締切 : April 17, 2023

- 2023 年 12 月開催

ICCE2023: The 31st International Conference on Computers in Education

開催期間 : December 4-8, 2023

開催地 : Matsue, Shimane

URL: <https://eds.let.media.kyoto-u.ac.jp/ICCE2023/>

投稿締切 : May 1, 2023

- 2024 年 1 月開催

The 22nd Annual Hawaii International Conference on Education

開催期間 : January 3-6, 2024

開催地 : Waikoloa, Hawaii

URL: <https://hiceducation.org>

投稿締切 : August 7, 2023



会費納入のお願い

学会の運営は皆様の年会費で支えられております。今年度の年会費が未納の方はご入金をお願いいたします。なお、10月以降に年会費が未納の場合、学会誌の送付が一時休止されます。入金確認後、入金日の翌月末までに今年度内の未送付分も合わせて学会誌の送付を再開いたします。3月末までに入金を確認できない場合は、未送付分の学会誌はお送りできなくなりますので、お早めにお手続きをお願いいたします。

URL <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページのURLは、会員情報管理システムの業務委託をしている株式会社国際文献社のものです。

- 「銀行振込」をご希望の方は、下記のいずれかの口座へお振込みをお願いいたします。

■振込先

◆ゆうちょ銀行

口座記号番号：00180-6-709632

加入者名：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

※他金融機関からゆうちょ銀行に振込む場合

銀行名：ゆうちょ銀行（金融機関コード：9900）

店名：〇一九 店（ゼロイチキョウ店） 預金種別：当座 口座番号：0709632

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆三菱 UFJ 銀行（金融機関コード：0005）

店名：上新庄支店（カミシンジョウ支店）

預金種別：普通 口座番号：0142708

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆みずほ銀行（金融機関コード：0001）

店名：茨木 支店（イバラキ支店）

預金種別：普通 口座番号：1399483

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

- 請求書・領収書（支払い後）は、マイページでオンライン発行できます。
- 請求書・領収書の郵送をご希望の方は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。

※団体名でお振込みいただきますと、個人を特定できない場合がございますので、振込名に会員番号またはお名前をご入力いただくか、難しい場合は、振込内容を事務局までご連絡いただければ幸いです。
※所属が変わった方は、マイページにログインした際に、連絡先などを変更するようお願いいたします。

【過年度年会費を支払われていない方へ】

マイページでは、全ての年度の未納金額を合算した金額が請求されます。先に本年度以前の分のお支払いを希望される方は、先に郵送された払込用紙付請求書をご利用になるか、学会事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡下さい。

※会費のお支払いが確認できない場合、学会からの送付物を停止させていただく場合があります。また、会員資格停止の手続きを進めさせていただく場合があります。

ご不明な点は、事務局（secretariat@jsise.org）までお問合せ下さい。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
Tel:03-6824-9376 Fax:03-5227-8631 Email : secretariat@jsise.org



事務局より



会員専用ページのご案内

URL : <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしております株式会社国際文献社のものです。

■会員専用ページでは、以下のことができます。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡をお願い致します。

ログインには、ID とパスワードが必要です。

パスワードをお忘れになった場合は、上記ウェブサイトにて照会できます。何かご不明な点がございましたら、JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



入会のご案内

入会をご希望の方は、下記のサイトよりオンライン入会申込フォームにアクセスしていただき、お申し込みをお願いいたします。

URL : <http://www.jsise.org/admission/index.html>

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、**入会金を無料**にさせて頂くというキャンペーンを行っております。
そちらも、合わせてご案内いただきますようお願いいたします。



新入会員のご紹介

下記の皆様が新しく入会されました。（2023 年 3 月 24 日～2023 年 5 月 24 日）

本学会での益々のご活躍を期待しております！

会員名	会員種別	会員名	会員種別
富川 雄斗	学生会員	堤 健人	正会員
鎗水 徹	正会員	不破 崇行	賛助会員からの正会員
谷原 英利	正会員	宮崎 健誌	学生会員
中口 悦史	正会員	眞坂 美江子	正会員
片山 英昭	正会員	木村 千夏	正会員
小仁 聡	正会員	杉野 菜月	学生会員
仲田 知弘	正会員	伊藤 聡	正会員
駒谷 優斗	学生会員	和嶋 雄一郎	正会員
松川 正幸	正会員	高松 邦彦	正会員
村上 唯斗	正会員	合同会社東雲研究所	賛助会員
中山 誠一	正会員		

（計 21 名）